

令和6年11月20日
(2024年)

保護者の皆さまへ

吹田市立千里丘中学校
校長 吉川 正晃

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また、吹田市でも今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・数学に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として参考にしていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査結果の分析

●国語《概要》

全体の平均正答率は全国値を上回っている。これまでの学習の成果が表れている。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

正答率は全国値を上回っている。苦戦した設問もあったようなので、今後、授業等での発表時に考えた過程と合わせて意見を言えるように指導していく。

【情報の扱い方に関する事項】

正答率は全国値を上回っている。全国的に見ても解答しにくい設問であったようだが、工夫して答えている様子が見える。

【我が国の言語文化に関する事項】

正答率は全国値を上回っている。全国的に見ても解答しにくい設問であったようだが、工夫して答えている様子が見える。

【話すこと・聞くこと】

正答率は全国値とほぼ同じ。スピーチに不慣れな様子も見られるので、授業での活動を継続するとともに、過程や実践内容を具体的に理解できるよう授業を工夫していきたい。

【書くこと】

正答率は全国値を上回っている。正解、不正解を含め、多くの生徒が自らの考えを書くことができています。

【読むこと】

正答率は全国値を上回っている。大半の生徒が登場人物の心理を丁寧に追うことができていた。

●国語における成果と今後の改善点について

全体として、これまでの学習の成果が表れた結果となっている。特に、漢字の書き取りや、語句の意味を答える問題については正答率が高く、語彙力が培われてきた結果として捉えることができる。

スピーチや発表時に、考えを整理しわかりやすい言葉を使って伝えることに課題が見えるので、授業やその他の活動時に練習を繰り返していきたい。

●数学《概要》

平均正答率は全国値を上回っており、学習の成果が見られる。

【数と式】

どの問題についても全国値を上回っているが、基礎的な学力が身についている。

【図形】

どの問題についても全国値を上回っているが、証明問題では無回答の生徒が多かった。

【関数】

どの問題についても全国値を上回っているが、他の単元と比較すると府平均との差が小さい。

【データの活用】

どの問題についても全国値を上回っているが、記述式の問題は正答率が低かった。

●数学における成果と今後の改善点について

全ての問題で全国平均を上回っており、基礎的な力が身についていた。問題形式の記述式の正答率が全体的に低く、自分の考えを論理的に文章で表すことが今後の課題と考える。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

☆良好な結果（全国の結果よりも肯定的な回答率が上回っているもの）

★課題あり（全国の結果よりも肯定的な回答率が下回っているもの）

※全国の結果との差がほとんど見られないものは記載していません。

○肯定的回答 %は肯定的回答の割合（ ）内の↑↓→は昨年との比較

(1) 自分自身のことについて

☆「学校に行くのは楽しい」 ○88%（↑1P）

☆「友達関係に満足していますか」 ○93%（↑5P）

☆「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」 ○94%（↑4P）

★「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 ○92%（↓2P）

★「人が困っているときは、進んで助けていますか」 ○86%（↓4P）

★「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」 ○70%（↓6P）

全国と比べても、全体的に肯定的な回答が多く、自己肯定感が高い生徒が多い学校であるという結果となりました。また、全国の結果と比べ、肯定的な回答が多かった☆の3項目より、学校が楽しく、良好な人間関係を築けている生徒が多いことがわかります。

一方、★の3項目に関しては全国の結果を下回っており、他者との関わりについて課題が見られます。日々の授業や道徳、学級活動の中で他者の意見や考えに触れる機会を増やしていきたいと考えております。

(2) 家庭生活について

☆「普段1日当たりの学校外での勉強時間」 ○2時間以上47%（↓8P）

※全国の結果は36%

★「毎日同じ時刻に寝ている」 ○79%（→）

★「毎日同じ時刻に起きている」 ○90%（↑3P）

★「普段1日当たりのSNSや動画視聴の時間」 ○2時間以上58%（→）

※全国の結果は56%

概ね規則正しい生活を送っています。学校外での勉強時間については全国の結果と比べても、大幅に上回っており、全体的に勉強に対する意識が高いことがわかります。

一方、就寝と起床時間のばらつきに多少の課題が見られます。さらに「普段1日当たりのSNSや動画視聴の時間」については2時間以上と回答した割合が58%となっており、携帯やスマートフォンの使用時間が長いことがわかります。こちらに関してはデジタルシティズンシップの授業や情報モラル講演会などを通じて、適切な使用について学校でも考える機会を作りたいです。

(3) 地域・社会等について

★「地域や社会をよくするために何かしたいと考えますか」 ○63% (↑7P)

*全国76%

「地域や社会をよくするために何かしたいと考えますか」という項目については肯定的な回答が全国の結果を大幅に下回りました。これは地域との関わりが少ないことが要因と考えられます。今後、身近な社会である地域に多様な関わりをもてるよう啓発を行っていきます。また、キャリア教育の一層の充実を図り、一人ひとりが自身の進路について考えるとともに、「社会をより良くするためにできることはないか」ということに関心を持てるような取り組みを実施していきたいと思います。

(4) 学級活動について

☆「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」 ○87% (↑7P)

☆「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」 ○83% (↑11P)

「学級活動」についてはほとんどの質問においても、肯定的な回答率が全国の結果を上回っていました。これは特別活動や総合的な学習の時間、行事への取り組みなどで積極的に班活動やグループ活動に取り組んでいる成果だと考えております。今後も自身の考えを深めたり、他者の意見を尊重したりできるようにこのような活動を続けていきます。

(5) 数学・国語について (肯定的な回答 単位%)

	好き	大切	よくわかる	社会で役立つ
国語	45	90	72	84
数学	55	82	79	72

国語と数学では上記の各項目について数学の「よくわかる」を除き、肯定的な回答が全国の結果を下回っていました。生徒が各教科の学習が楽しく、好きになれるよう授業を工夫していく必要があると感じております。「わかった」という達成感が持てる授業づくりに励むとともに社会や生活とのつながりを感じさせたり、教科の楽しさが実感できたりするように指導方法を改善していきます。